



<http://www.sappororo.hokkaido-c.ed.jp>

学校通信 第4号

令和4年(2023)6月23日発行

発行人 北海道札幌聾学校

校長 四木 定宏

TEL 011-716-2979

FAX 011-758-7617

HPはこちらです↓



「校外清掃活動 ～コミュニティ・スクールの原点～」

教頭 宇野宏之祐

6月16日の午後、さわやかな初夏の日差しの下、小学部の児童が校外清掃活動を行いました。

「校外清掃活動」とは、児童が学校周辺のゴミを拾う活動を通じて、公共心や道徳性を養うために設定している学習です。この活動は、以前から毎年この時期に行っている、いわば本校にとって伝統的な学習の一つでした。しかし、ここ数年のコロナ禍においては、活動中止を余儀なくされたり、活動が制限されたり、悪天候のため実施が難しかったりといった状況にあったため、実質的には数年ぶりの開催でした。

本校の「校外清掃」には、もう一つの特徴があります。それは、地域（町内会）の皆さんが共に活動に参加し、児童と一緒にゴミ拾いをしてくれるということです。

校外清掃は、半ば伝統的な学習でしたが、コロナ禍による数年間の空白期間を経て、今回の活動は、その意義や意味を改めて考えるきっかけになりました。元々、特別支援教育が「特殊教育」と言われていた平成19年以前においては、「地域に開かれた学校」を重視していました。まだ「障がい」というものに対して社会の理解が十分ではない時代において、地域と積極的に関係を図るということは、障がいのある子どもの教育を進める上での戦略の一つでもありました。

時代は変わり、学校が地域と共に教育を進めるだけではなく、学校が地域創りにも寄与するといった考え方に基づく「コミュニティ・スクール」の設置が求められている近年（本校では本年度より、学校運営協議会を設置した学校「コミュニティ・スクール」となりました）においては、学校と地域が対等な関係であり、そのいずれかが欠けても、学校も地域も成立していかないという我が国の切実な危機意識が背景にあります。

今後の学校教育においては、学校と地域との双方向性を充実していく必要があると言えます。

児童玄関前に集合した児童と、黄色いウィンドブレーカーを着た町内会の皆様の笑顔があふれる中、高学年の児童がリーダーシップを発揮しながら、挨拶や説明を行っています。児童の表情は普

段よりも明らかに明るく、これからの活動への意欲と期待感に満ちあふれています。地域の皆さんは、優しく暖かな児童を見る眼差しと、児童の説明に返事をしたり拍手をしたりして、場を一層盛り上げてくれています。高学年の呼び掛けで「エイ・エイ・オー！」と、幅広い年齢層で構成された集団が一体となり檣が飛び交います。

学校の周囲を時計回りに進むグループと、反時計回りに進むグループに分かれて、ゴミ拾いが始まりました。児童は、先生や地域の方々や「意外に綺麗だね」「こんなところにゴミがあったよ」「すごいゴミを見つけたね」などと会話をしながら、熱心に活動しています。受身的に活動している児童は一人もいません。地域の方の中には、「この言葉は手話でどう表現するのか」などと児童とのコミュニケーションに興味をもってくださる方もいて、より活動に活気が生まれていきます。

最後は、高学年の児童の挨拶と御礼で活動を閉じました。教室に戻る児童の表情を見ると、とても充実した活動となったことが表れていました。児童にとっても、教員にとっても、地域とのつながりを実感した1時間となりました。

本校はもとより、全ての学校にとって、大きく変化していくこれからの時代（予測困難な社会）においては、「これまでの取組で問題なかった」といった前年度踏襲主義や、「教育はこうあるべき」といった正解主義、「指導方法はこの方法であるべき」といった二項対立主義では、解決しないどころか、これからの時代に通用しない教育に陥ることが危ぶまれています。

今回の校外清掃活動は、本校の伝統的な学習ではありましたが、コロナ禍という空白期間を得たからこそ、本校の教育活動が地域の皆様に支えられているという実感と、本校の教育が地域にとっても意義深いものとならなければならないという使命を感じることができました。

地域の皆様、ありがとうございました。機会がありましたら、また本校においでください。

7月予定表



2日(日) 英検①(2次)	14日(金) 若木まつり(小)
3日(月) 朝会(小) 高等聾学校説明会(中3)	18日(火) 友和会(舎)
6日(木) なつまつり(幼3・4才)	19日(水) 誕生会(幼) 舎内清掃(舎)
おとまり会(幼5才～7日)	20日(木) PTA茶話会(ランチ会)
校外学習(小3-1組、2組)	学級懇談(小～24日)
宿泊学習(中2～7日)	夏レク(舎)
7日(金) 休業日(幼3・4才)	21日(金) なつまつり(乳)
野外活動(中1)	校外学習(小4-1組、2組)
職場体験学習(中3)	24日(月) 大掃除(小) ALT(中)
10日(月) 朝会(中)	25日(火) 1学期終業式 大掃除(中)
11日(火) 二計測(幼) PTA厚生部会・研修部会	中体連全道大会(陸上、～27日)
12日(水) 安全を守る指導(小高)	26日(水) 夏季休業(幼・小～8月20日、中～8月24日)
クレヨンカンパニー(幼、小1～3・3組全)	29日(土) 台湾からの学校視察
13日(木) 校外学習(小3-1組、2組)	

運動会を終えて(幼稚園)

練習の時から上級生は下級生の手を引いたり声をかけたりしていて、その様子が大変微笑ましかったです。お互いに良い刺激を与え合っていたことが大きな成果だったと思います。当日の6月9日(金)はあいにくの雨模様。体育館で幼稚園の運動会を開催しました。家族に見守られ、「がんばれ～」と声援を受けながら、練習の成果を発揮することができました。(小川)

運動会の思い出(小学部)

5月31日(水)に小学部運動会が行われました。天気や気温が安定しない日々が続きましたが、子ども達の願いが届き 無事開催することができました。全力疾走でゴールを目指す徒競走。迫力あるよさこいや周りの人をメロメロにさせるような表現活動。上級生が下級生を引っ張る場面が多々見られた運命走。1mでも1秒でも早くバトンを渡そうと必死になった紅白リレー。それだけではなく、開・閉会式では、子ども達が主体的に練習を積み重ねてきた成果を発揮することができました。多くの感動的なドラマが生まれた運動会になりました。保護者の皆様、平日のお忙しい中にも関わらず、応援に足を運んでいただき誠にありがとうございました。廊下には運動会に関する作文が貼ってありますので、お時間ある時にご覧ください。(木村)

中学部 3年生 修学旅行

5月17日から19日まで中学部3年生6名修学旅行に行ってきました。今年度の行き先は青森市と函館市でした。実に4年ぶりの道外です。1日目は、新函館北斗駅から北海道新幹線に乗り、青森市へ。青森市では「三内丸山遺跡」「青森県立美術館」を見学しました。「三内丸山遺跡」ではボランティアガイドの方の説明を聞きながら、より快適に生活をするための工夫や人の死を悼む儀式など、悠久の歴史を感じる世界文化遺産を見学しました。青森県立美術館では、青森県弘前市出身の奈良美智氏が制作した巨大な「あおもり犬」の鑑賞をしました。2日目は2つのグループに分かれて青森市内の自主研修です。「ねぶたの家 ワ・ラッセ」や「八甲田丸」などを見学しました。気温30度と暑い中での研修となりましたが、計画していた行程を調整し、適宜涼しい場所で休憩を取るなど、臨機応変に対応していたところはさすがでした。自主研修を終え、函館へ移動し函館山の夜景鑑賞。函館市の地形がくっきりと見え、その美しい夜景は生徒たちの心に刻み込まれたことでしょう。3日目は、函館市元町地区にある生田ガラス館でステンドグラス制作を行いました。イルカや鳥、星のサンキャッチャーや写真立てなど、それぞれがお好みの題材を選び、はんだ付けをしました。

盛りだくさんな行程でしたが、よく学び、よく食べ、修学旅行を楽しんできました。中学部3年生の修学旅行は、これまでの学校生活で学んだことを実践できる場だと思います。協調性、社会性、時間の調整、お金の使い方、地図の見方、健康の保持など、非日常の中でそれぞれがもつ力を発揮してきました。修学旅行という教室では味わうことのできない生きた学習を終えて、ぐっと成長した3年生です。(板垣)

令和5年度 第1学期終業式について

1 期 日 令和5年7月25日(火)

[夏季休業日 幼稚園・小学部：令和5年7月26日(水)～令和5年8月20日(日)
中学部：令和5年7月26日(水)～令和5年8月24日(木)]

2 日 程

(1) 幼稚園	学級指導	9:30～10:00
	終業式	10:00～10:30
	学級指導	10:30～10:40
	学級懇談	10:40～11:10
	下校	11:15
(2) 小学部	終業式	8:50～9:10
	学級指導	9:15～10:00
	下校	10:00
(3) 中学部	1、2校時	授業
	終業式	10:45～11:00
	掃除・学級指導	11:00～11:35
	下校	11:35



※ 下校時刻は、幼稚園が11時15分、小学部が10時、中学部が11時35分となっています。